

2023 年度 事業計画書

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会

1. 2023 年度事業の方針

2023 年度の事業計画の柱は、ユニバーサル・ホスピスマインドの社会実装の礎をつくることにあります。

団塊の世代がいよいよ後期高齢者になりつつある時代を迎え、日本の年間死亡者数は 150 万人を越えました（2022 年 156 万人、厚生労働省発表）。独り暮らし世帯も増え、孤独・孤立問題も顕在化してきました。行政・自治体だけで社会課題を解決することは困難であり、地域の担い手が必要になります。エンドオブライフ・ケア協会は、いのちの限られたホスピスの現場で培った対人援助のエッセンスから、解決できない苦しみを抱えた人に関われる担い手を育成する活動を展開してきました。その活動範囲は、医療・介護の現場にとどまらず、地域で解決困難な苦しみに関わるすべての担い手づくりに展開できる可能性を持ちます。

マッチ 1 本の火は、息で吹き消すことができます。しかし、部屋に広がった火は、バケツ 1 杯の水でも消すことができません。人の苦しみも、小さなうちに、関わる担い手がすぐそばにいたならば、社会は変わっていくかもしれません。半径 5m の誰かに気づき関われる担い手を、それぞれの地域で増やしていく、社会実装してくために、皆様の力を借りながら、活動を拡げていく予定です。ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

代表理事 小澤 竹俊

II. 各事業について

(1) 「人生の最終段階」に対応できる人材の育成

エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座は、今年度も公開講座として、少人数の現地会場参加とオンラインとのハイブリッド開催を企画する。

また、各地域での参加しやすさに鑑み、各地の認定 ELC ファシリテーターと連携しながら、インハウス開催を検討していく。

(2) 職種や世代を超えて学び、実践するためのコミュニティを支援する活動

特定地域において、希望する場所で最期まで暮らせる体制づくりとして、現地人材と協働のもと、施設等の人材育成と地域福祉関係者との協力体制づくりを推進していく。(日本財団の助成事業として、一昨年度からの継続。佐賀県唐津市はその一つ)

各地の認定 ELC ファシリテーターや「折れない心を育てる いのちの授業」認定講師がそれぞれのコミュニティでオンラインを含めて活動ができるように支援する。認定 ELC ファシリテーターと引き続き綿密な連携を図り、主催する講座やイベントでの活動を通してスキルアップをサポートする。

(3) 地域コミュニティのレジリエンス強化「折れない心を育てる いのちの授業」

講師トレーニングをオンラインで年間3回開催。4か月ごとのサイクルで、受講・評価・認定プロセスを運用する。

また、認定後、講師が自信を持ってオンラインなどで授業を実施できるようになったり、学校等の場へ提案に伺えるようになったりすることを目指し、認定講師がお互いの経験から学び合える学習会を毎月開催する。その企画・運営も認定講師が主体となって行えるようサポートする。

認定講師が活躍できる場を増やしていくべく、エンドオブライフ・ケア協会からも各所へ働きかけていく。特に、特定地域において、学校や自治会やNPO等とまちづくりの視点で面での展開を試行する。

なお、需要増加に伴う業務負荷への対応や、教材の拡充、プロモーションも重要であると考えたとき、活動資金の確保が大きな課題となっている。寄付、助成、企業連携等の可能性を引き続き検討する。

(4) 社会課題と活動への関心を育む取り組み

学会・研究会等における教育講演、ポスター発表等を通じて活動成果を可視化していく。

活動の関係人口を増やす上で、共通のゴールを目指す様々な他団体との連携や、これまで十分に活用できていない媒体を通して、医療・介護業界に留まらず発信していく。

(5) 現役世代 / 将来世代の「もしも」に備える

職種を問わず、対人援助に関心のある方であればどなたでも参加できる機会として、問いをベースにした対話型オンラインイベント「ユニバーサル・ホスピスマインドをもとに最強のチームを作ろう」を、今年度も毎月第三火曜日に開催していく。

さらに、将来世代が活動に関心を示し、自発的に学べる機会を応援すべく、認定 ELC ファシリテーターや認定講師が繋がりを持つ専門学校や大学等において、自主的な学習会をサポートする。

III. 法人運営

(1) ホームページのリニューアル

昨年度まで行ってきた、強みと価値観の言語化（ユニバーサル・ホスピスマインド）や、活動の広がりによって複雑化しているホームページと裏側のシステム周りの情報整理を踏まえ、今年度は1年間かけて、デザインの改修を行っていく。

(2) プロボノとの協働

企業との関係性づくりに向けて、広く意見を集めながら、資料作成等プロボノに協力を求めていく（プログラムに3件登録中）。

IV. 2023 年度計画

事業名/活動内容	実施日・頻度等	実施場所	人数 (人)
(1) 「人生の最終段階」に対応できる人材の育成			
「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」 (公開講座)	年 20 回	オンライン	400
「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」 (インハウス研修)	年 4 回程度	各地域	160
「認定エンドオブライフ・ケア援助士」の認定	通年	事業所	100
(2) 職種や世代を超えて学び、実践するためのコミュニティを支援する活動			
「認定 ELC ファシリテーター」の認定・更新	通年	事業所	15
地域学習会 (認定 ELC ファシリテーターによる学習会)	通年	オンライン/ 各地域	3,000
(3) 地域コミュニティのレジリエンス強化「折れない心を育てる いのちの授業」			
認定講師による授業	通年	オンライン/ 各地域	15,000
講師トレーニング	年 3 回	オンライン	100
「折れない心を育てる いのちの授業 認定講師」の認定	通年	オンライン	30
認定講師の学び合い	年 12 回	オンライン	360
(4) 社会課題と活動への関心を育む取り組み			
書籍出版	通年	-	-
メディア掲載・出演	通年	-	-
研究・学会発表・論文投稿	通年	-	-
(5) 現役世代 / 将来世代の「もしも」に備える			
設立 8 周年シンポジウム	2023/4/15	オンライン	300
「ユニバーサル・ホスピスマインドをもとに最強のチーム を作ろう」	毎月第 3 火曜日	オンライン	600
他団体連携 (地域福祉に関わる活動)	通年	-	-

以上